

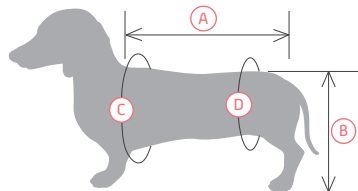
LET'S MEASURE 実際に計測してみましょう

Step.1 ①着丈、②体高、③胸回り、④胴回りを計測してサイズを書き込み当てはまるサイズにをつけてみましょう

ハーネス 本体

① 着丈 首の付け根からしっぽの付け根までの長さ

cm	ハーネス	本体
	<input type="checkbox"/> 25~30cm→ハーネス①	<input type="checkbox"/> 25~35cm→本体S
	<input type="checkbox"/> 27~35cm→ハーネス②	<input type="checkbox"/> 32~45cm→本体M
	<input type="checkbox"/> 32~45cm→ハーネス③	



② 体高

地面から背中までの高さ

cm	本体
	<input type="checkbox"/> 16~30cm→本体S <input type="checkbox"/> 24~42cm→本体M

ハーネス

③ 胸回り

前足付け根の後ろ部分の胸回り

cm

- 36~41cm→ハーネス①
- 40~50cm→ハーネス②
- 45~65cm→ハーネス③

ハーネス

④ 胴回り

後ろ足付け根の前部分の胴回り

cm

- 33~41cm→ハーネス①
- 37~48cm→ハーネス②
- 43~58cm→ハーネス③

Step.2 あなたの愛犬のハーネス、本体はどのタイプでしたか？

ハーネス	<input type="checkbox"/> ハーネス①	<input type="checkbox"/> ハーネス②	<input type="checkbox"/> ハーネス③
本体	<input type="checkbox"/> 本体S	<input type="checkbox"/> 本体M	

対応サイズ表

種類	サイズ	①着丈(cm)	②体高(cm)	③胸回り(cm)	④胴回り(cm)
ハーネス	①	25~30		36~41	33~41
	②	27~35		40~50	37~48
	③	32~45		45~65	43~58
本体	S	25~35	16~30		
	M	32~45	24~42		

- 胴回りが痩せている場合はタオル等を巻いて調整してください。
- サイズが2サイズにまたがる場合、ハーネスは大きめサイズを、本体は小さめサイズをお選びください。
- このサイズに当てはまらない場合は店舗スタッフ、もしくはペットアドバンスWEBサイトよりお問合せください。

店頭の見本サンプルをご試着いただくか、サンプルレンタルサービスをご活用ください。

Check!



製品情報や取付け方等、詳しくはWEB上でご覧いただけます

初回購入時は、組合せ品(ハーネス+補助車本体)をご購入ください

組合せ品

		カラー	型式	価格
本体S	+ハーネス①	レッド	DGS-SH1RDT	税込 ¥55,000(本体価格¥50,000)
		ブルー	DGS-SH1LUT	
	+ハーネス②	レッド	DGS-SH2RDT	税込 ¥57,200(本体価格 ¥52,000)
	ブルー	DGS-SH2LUT		
	+ハーネス③	レッド	DGS-SH3RDT	税込 ¥64,900(本体価格¥59,000)
本体M	+ハーネス①	レッド	DGS-MH1RDT	税込 ¥72,600(本体価格¥66,000)
		ブルー	DGS-MH1LUT	
	+ハーネス②	レッド	DGS-MH2RDT	税込 ¥74,800(本体価格 ¥68,000)
	ブルー	DGS-MH2LUT		
	+ハーネス③	レッド	DGS-MH3RDT	税込 ¥82,500(本体価格 ¥75,000)

ハーネス単品

- ハーネス①レッド [DGS-H1RDT](#) ハーネス①ブルー [DGS-H1LUT](#)
 - ハーネス②レッド [DGS-H2RDT](#) ハーネス②ブルー [DGS-H2LUT](#)
 - ハーネス③レッド [DGS-H3RDT](#)
- 素材/ハーネス材質表地: 綿100% 裏地: ポリエステル100%
● ハーネスはドギーサポーター専用ハーネスをご使用ください。



レッド(左)/ブルー(右)

本体単品



3Dアジャスター機能搭載

3Dアジャストにより、個体差に応じてぴったりとフィットします。アニマル工学に基づいたデザインで、ワンちゃんの急な動きでも転倒しないよう設計しています。

補助車本体S [DGS-S](#) 補助車本体M [DGS-M](#)

- 素材/補助車材質: アルミニウム合金 車輪材質: EVA
- 本体質量/DGS-S: 1.3kg DGS-M: 1.6kg
- 本体Sの車輪は凸凹あり、本体Mの車輪は凸凹なしが標準です。タイヤ交換を希望される場合は、オプションパーツをご購入ください。※取替えはお客様にてお願いいたします。



オプションパーツ

交換用車輪 DGS-DS(凸凹あり)/DGS-TS(凸凹なし)
150φ・2個/セット

株式会社 ピカ コーポレーション [本社](#) 大阪府東大阪市長田中4-4-10

www.petsadvance.jp

[ペットアドバンス](#) [検索](#)

記載内容は、2020年12月現在のものです。
※掲載製品の仕様・価格及び外観は改良の為、予告なく変更する場合があります。
※掲載写真はイメージです。製品の使用時は添付の取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
※印刷の性質上、写真と現物との色が異なっていることがありますのでご了承ください。
※製品写真はデザインの関係上、現物のサイズ比率と異なります。
※本カタログからの無断の複製は固くお断りします。

■お求めは

犬用補助車 ドギーサポーター

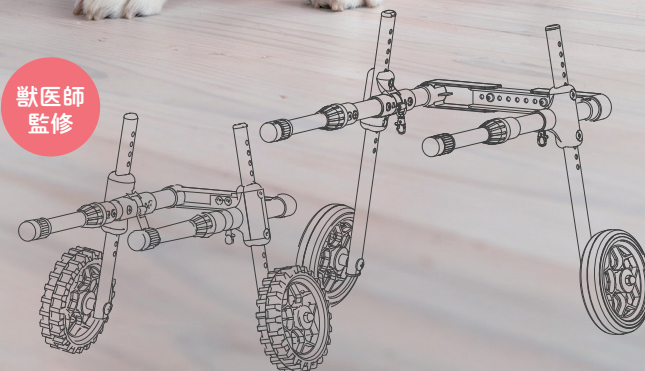
日本製

小型犬用

中型犬用



獣医師
監修



PET's ADVANCE

By Pica corp.

歩きたいたい、
歩かせてあげたい

あきらめていたお散歩ができる



本体 S + ハーネス①着用

一般的な犬用補助車は個別のオーダーメイドが中心のため、高額であったり、納期がかり、欲しい時にすぐに購入できませんでした。

お散歩が困難になってきた愛犬を「今すぐ、何とかしてあげたい!」、「本来はお散歩が大好き!」

そんな飼い主様と愛犬の願いをかなえたいと考え、創業60余年のアルミ製足場トップシェアメーカーで培った技術力で犬種や年齢による個体差に対応し、獣医師監修のもとアニマル工学デザインに基づいた、ワンちゃん本来の動きを最大限サポートする良質な犬用補助車を作り上げました。

ワンちゃんと飼い主様に少しでも早く笑顔になっていただきたい、そんな思いを込めた犬用補助車、それがドギーサポーターです。

お客様のコメント

凧太郎くん

犬種：ミニチュアダックスフンド
年齢：10歳

Q. ご購入の決め手は？

かかりつけの獣医さんに、リハビリ目的での使用は良いか聞いたところ、良いと言われ、また、歩けることでストレス解消にもなるとのアドバイスから、試着をしてみてもうだったので購入を決めました。



Q. 実際使用していかがですか？
以前に比べ、勢よく歩いています。今後、慣れていけば、さらに自力で歩けるようになればと願っています。

ブギーくん

犬種：トイプードル
年齢：1歳

Q. ご購入の決め手は？

- ・後ろ足が外側に開いているのでハーネスを取付けるタイプが良かった。
- ・車輪の大きさがよく、どんな道でも大丈夫そうだった。



Q. 実際使用していかがですか？
・外に出るときに着用しているが元気によく走っている
・歩きにくさも感じられない

動画で、凧太郎くんとブギーくんが元気に歩く姿をご覧いただけます▶



ハーネスの取り付けによる スムーズな歩行



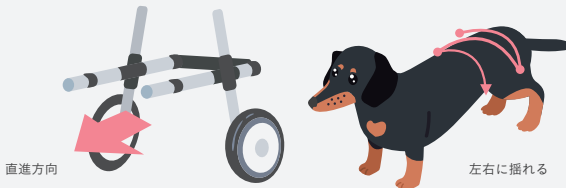
ボク、おしりをフリフリして歩くよ

本体M + ハーネス③着用

ドギーサポーターは、専用ハーネスを着用してから本体を固定します。本体をワンちゃんに直接取り付けないことで、ワンちゃん本来の動きと歩行をサポートします。

一般的な補助車 進行方向のズレ

本体をワンちゃんに直接取り付ける場合、おしりを振り左右に揺れながら前に進むワンちゃんと直進方向に進む車輪の動きとでは、ワンちゃんの動きが制限されていました。



直進方向

左右に揺れる

ドギーサポーター

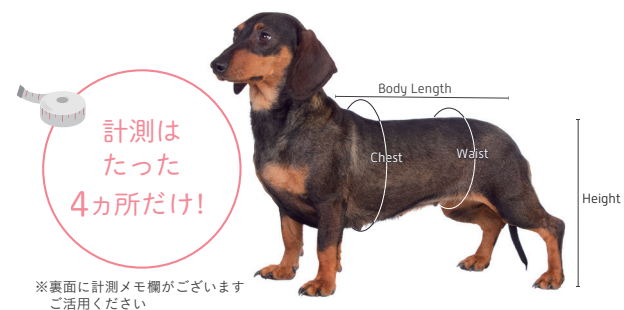


ドギーサポーターは、本体とワンちゃんを直接固定するのではなく、ワンちゃんにハーネスを取り付け、その後ハーネスと本体を固定します。

本体とワンちゃんとの間に遊び領域が生まれ、ワンちゃん本来の左右の動きを邪魔することなく、スムーズな歩行をサポートします。

ハーネスから本体の取り外しはフックで簡単にでき、都度組み立てる必要もありません。また、ハーネスで過ごしていただいても差し支えありません。

既製品なのにぴったり動きやすい!



※裏面に計測メモ欄がございます
ご活用ください



本体の長さ、高さ、幅を調整します。体型の変化に応じて、調整することも可能です。



ネジなどで本体の調整が可能で、組み立てを都度する必要はありません。専用工具も本体に付属されています。

※体型に変化があった場合は、ご調整ください。

お散歩したいワンちゃんの気持ちを最大限サポートします!



車輪はハの字のため、カーブなども転倒しにくい構造です。



背中から取付け。マジックテープやフックで個体差に合わせてアジャスト可能。



後ろ脚位置に車輪があるように設計。ワンちゃん本来の身体に近い構造を目指しました。



後ろ脚が完全に不自由な場合、吊り具を使用することで脚へのスレ傷を防止しました。